

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場です。
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているのでござるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

方言に慣れてくる子や

山笑ふ

神奈川県茅ヶ崎市 長島 久江

季節は「山笑ふ」。如何にも穏やかで朗らかな「春の山」を表す季節である。因みに夏は「山滴る」、秋は「山装ふ」、冬は「山眠る」と俳句ではいう。もともとは中国の絵画の書物での形容であるが、言い得ている。「方言」は地方、地方で使われる地域言語。違う場所ですべてきた「子」が何らかの事情で転居したが、大人に較べて、その地の方言に慣れるのが早く、「山が笑う春」になる頃には随分と達者になった、というのである。それに較べて大人はなかなか、という処か。

(鳴立庵庵主 本井 英)

今月の短歌

近づけば静かに香り始めたり

夜の窓辺に置かれし柚子は

京都府京都市 小池 ひろみ

冬至の近づく季節でしょうか、柚子が窓辺に置いてあります。寒い夜の室内で柚子の明るい黄色が目にとまります。近づくととてもよい香りがします。誰でも知っている日常の「コマ」ですが、このように歌にしてみると、わたしたちがどのように感覚を働かせて生きているかに気づきます。歌は柚子を嗅覚でとらえ、「静に香り始めたり」といっています。香りの表現は難しいといわれますが、この二句と三句で、読者とともに、柚子の佇まいや落着いた室内の気分を味わうことができます。

(西行祭選者 今井 恵子)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
寄席	6月8日(土)	開場13:00 開演13:30	演目 お直し、三味線漫談、幫間腹 演者 桂 三十助、ぼん太、朝寝坊 夜楽 定30人 費800円(入庵料込)
座禅	6月22日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
伝筆	6月23日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
花の会	6月26日(水)	14:00~16:00	アリアムを使った動きのある初夏のアレンジ 講 府川 葉月氏 定18人 費2,500円(入庵料込) 持 はさみ、タオル、持ち帰り袋
虎が雨句会	6月30日(日)	10:00~14:00	本井庵主が主催する虎御前供養句会 お虎さんに自作の俳句をプレゼント!! 費2,000円(入庵料込)
茶と遊ぶ	7月6日(土)	10:00~正午	みちかぜ茶会 講 高野 幸代氏 定10人 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)

「めいどいんおおいそ」登録産品販売店紹介

〔有パンの蔵〕

住所：大磯町大磯995-13
食べておいしく体が喜ぶパン作りを日々目指しています。

登録産品：「おからくち」
お店からのひとこと：「おからをもっと有効に！の熱い想いで平塚農商高等学校食品科学科の生徒さん共同企画。」

〔株友月堂〕

住所：大磯町高麗3-3-39

大正12年創業。四季折々の和菓子を販売しています。

登録産品：「高麗山」
お店からのひとこと：「チーズとそば茶が香る、神奈川県指定銘菓です。」



問 大磯らしい潤いづくり

協議会(大磯商工会)

☎(61)0871

